

福島の春 それは何ととっても桜です！

長い冬を超して(会津地方)、福島には春が一気にやって来ました(暖かい浜通りは除いて)。滝桜で有名な三春町の地名は、「梅と桜と桃が一度に咲いて三つの春がやって来る」からその名が付けられました。

福島での桜の開花は、例年は4月の中頃です。今年は10日間ぐらい早く、4月上旬に満開になりました。会津も今年は雪が少なかったです。地球の温暖化のせいかもしれません。多くの地域では、4月中旬に桜祭りを計画していましたが、今年は桜が散る祭りになりました。

福島の桜の名所は、大きく2つに分けられます。1つは一本(枝垂れ)桜です。三春の滝桜(三春町)が有名です。一本だけ咲いている桜は、雄大でどちらかと言えば“男性”のイメージです。2つめは、桜並木です。夜ノ森の桜並木(富岡町)や夏井川の千本桜(小野町)が有名です。川の兩岸に咲く桜は、彩も鮮やかでどちらかと言えば“女性”のイメージです(群れているわけではない)。

東京では、花見と言えば、宴会やカラオケが付き物です。しかし、福島では、宴会等はありません。そもそも地元の人には花見をしません。桜が咲いていることが日常生活の一部なので、わざわざ花見をしないのかもしれませんが。

HOME 月々のことば(法話) 2023年4月 大谷本廟

インターネットで「桜散る」を検索したら、「大谷本廟」に次のようなことが載っていました。

「桜散る 梅はこぼれる 椿落つ 牡丹くずれる 人は……」

春爛漫の季節を迎えました。あなたがこの紙を手にしてくださっている時、周りを彩る花々はどんな姿をしていますか？私たちの先輩方は花の咲く姿だけではなく、終わりの姿も味わい深く愛でてこられたようです。それが、花の終わりの表現の豊かさに表れていると教えてもらったことがあります。

たとえば、桜の花の終わりは「散る」と言いますね。梅の花はどうでしょうか？桜と同様「散る」と言われることもあります。小さくて丸っこい梅の花びらが散る様子は、涙がポロポロこぼれる様子に似ていることから、梅は「こぼれる」という言い方もあるのだそうです。椿は、花首からポトリと「落ちる」。大輪の花を開かせる牡丹は、咲く姿もダイナミックですが枯れる姿もダイナミックです。それは形が大きく「くずれる」から。花によってこれほど多彩な表現があることに、日本語の豊かさを知らされます。

では、ここでクイズです。

「桜散る 梅はこぼれる 椿落つ 牡丹くずれる 　では 人は……？」

あなたはどんな言葉を考えましたか？

「死ぬ」も正解です。しかし、「往く」が良いとのこと。 「往く」の元になっている言葉

は、「往生」とのことです。」(<https://otani-hombyo.hongwanji.or.jp/howa/3500/>)



【桜の下で牛もモー大満足（蛭田牧場 檜葉町）[4月2日撮影]】



【水辺に映った桜に鴨も酔いしれているのカモ（上繁岡大堤 檜葉町）[4月2日撮影]】